

平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 1 日

上場会社名 株式会社日本一ソフトウェア 上場取引所 JQ
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北角 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 佐藤 智洋 TEL (058) 371-7275

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	549	—	63	—	52	—	30	—
19年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
19年3月期	1,846	—	344	—	362	—	206	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	1,572	83	1,492	82
19年3月期第1四半期	—	—	—	—
19年3月期	12,152	22	—	—

(注) 平成19年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新株予約権の残高はありますが、平成19年3月31日時点において当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
20年3月期第1四半期	1,705	—	1,184	—	69.5	56,417	62	
19年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	
19年3月期	1,364	—	803	—	58.9	47,277	99	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	円	百万円	円	百万円	円	銭	
20年3月期第1四半期	35	—	△172	—	263	—	579	
19年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	
19年3月期	110	—	△222	—	△123	—	442	

(注) 第1四半期連結財務諸表は、平成20年3月期より作成しているため、平成19年3月期第1四半期及び対前年同四半期増減率等については記載しておりません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第1四半期末	
	円	銭
19年3月期第1四半期	—	—
20年3月期第1四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	902	△4.3	77	△69.8	31	△88.1	20	△85.9	1,025	84
通期	2,279	23.5	498	44.6	452	24.9	270	31.1	13,199	82

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、円安や金利の上昇等により景気への影響が懸念されましたが、企業収益改善による設備投資の増加や個人消費の持ち直しにより、依然として緩やかな拡大を続けております。

当社グループが属するゲーム業界におきましては、「PLAYSTATION3」「Wii」といった新型据置型ハード市場と「PlayStationPortable」「ニンテンドーDS」といった高性能携帯型ハード市場が拡大を続けております。このような状況のもとで、当社グループにおきましては、PlayStation2専用ゲームソフト『グリムグリモア』を4月に国内、6月に北米とそれぞれ発売いたしました。また、平成18年11月に発売いたしました『魔界戦記ディスガイア PORTABLE』が引き続き好調な販売本数を維持しております。

また、今後のゲームソフト開発・コンテンツ制作拡充のため人員増加・開発強化を行い平成20年3月期に発売を計画している商品開発の進捗状況としましては順調であり、業績への影響はないものと判断しております。

その結果、当第1四半期の売上高は549,490千円、営業利益は63,330千円、経常利益は52,683千円、四半期純利益は30,932千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期末の総資産は1,705,230千円となり、前連結会計年度末比340,549千円増加いたしました。これは主に、流動資産のうち現金及び預金が177,190千円、たな卸資産が91,371千円、固定資産のうち新社屋建設を含む有形固定資産116,729千円増加したこと及び売上債権が64,291千円減少したこと等によるものであります。

また、純資産は1,184,770千円となり、前連結会計年度末比381,044千円増加しております。これは主に、新株発行344,800千円、当第1四半期純利益30,932千円によるものであります。

(2) キャッシュフローの状況

当第1四半期の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首より137,190千円増加し、579,200千円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、35,042千円となりました。これは主に仕入債務の増加額83,257千円、売上債権の減少額66,845千円、税金等調整前四半期純利益52,873千円等の資金増加に対し、たな卸資産の増加額90,632千円、法人税等の支払額36,309千円、売上値引引当金の減少33,414千円等の資金減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、172,837千円となりました。これは主に定期預金の預入による40,000千円、新社屋建設資金を含む有形固定資産の取得による支出127,840千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、263,733千円となりました。これは主に株式発行による331,936千円の資金増加に対し、短期借入金の純減額30,000千円、長期借入金の返済による支出33,953千円の資金減少があったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、エンターテインメント企業として家庭用ゲームソフトの企画・開発・販売を主体として、ゲームソフト及びゲームコンテンツを提供しておりますが、提供する商品は、当社の開発環境または進捗状況等により発売時期が偏る傾向があり、当連結会計年度の売上高、利益とも下期に集中する傾向があります。

また、ゲームソフト開発の進捗が順調に推移していることから発売時期の変更予定の計画はありません。

これらを踏まえて、平成19年6月13日付（平成19年3月期決算短信）に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

財務諸表等の作成に際しては、中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下の簡便な手続きを採用しております

- ・ 税金費用の計算については、一部簡便な方法を採用しております。
- ・ その他影響額が僅少であるものについて、一部に簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より平成19年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期 第1四半期末〕	〔平成20年3月期 第1四半期末〕	金 額	増減率	(平成19年3月期 末)
	金 額	金 額	金 額		金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
現金及び預金	—	699,200	—	—	522,010
売掛金	—	142,199	—	—	206,491
たな卸資産	—	110,524	—	—	19,152
前渡金	—	121,426	—	—	106,628
その他	—	85,853	—	—	84,347
流動資産合計	—	1,159,204	—	—	938,629
II 固定資産					
有形固定資産	—	455,240	—	—	338,511
無形固定資産	—	49,081	—	—	46,076
投資その他の資産	—	41,702	—	—	41,462
固定資産合計	—	546,025	—	—	426,050
資産合計	—	1,705,230	—	—	1,364,680
(負債の部)					
I 流動負債					
買掛金	—	120,211	—	—	35,096
短期借入金	—	190,000	—	—	220,000
売上値引引当金	—	71,737	—	—	101,564
その他	—	117,696	—	—	154,142
流動負債合計	—	499,646	—	—	510,803
II 固定負債					
長期借入金	—	20,409	—	—	39,862
その他	—	404	—	—	10,288
固定負債合計	—	20,813	—	—	50,150
負債合計	—	520,459	—	—	560,954
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	—	239,900	—	—	67,500
2. 資本準備金	—	229,900	—	—	57,500
3. 利益剰余金	—	699,738	—	—	673,055
株主資本合計	—	1,169,538	—	—	798,055
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	—	384	—	—	△87
2. 為替換算調整勘定	—	14,847	—	—	5,757
評価・換算差額等合計	—	15,231	—	—	5,669
純資産合計	—	1,184,770	—	—	803,725
負債、純資産合計	—	1,705,230	—	—	1,364,680

(注) 1. 当第1四半期から四半期財務諸表を作成するため、前年同四半期の実績及びこれに対する増減の記載は行っておりません。

2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	—	549,490	—	—	1,846,118
II 売上原価	—	272,987	—	—	642,717
売上総利益	—	276,502	—	—	1,203,401
III 販売費及び一般管理費	—	213,172	—	—	858,653
営業利益	—	63,330	—	—	344,747
IV 営業外収益	—	14,938	—	—	22,859
V 営業外費用	—	25,585	—	—	5,205
経常利益	—	52,683	—	—	362,401
VI 特別利益	—	255	—	—	—
VII 特別損失	—	64	—	—	16,411
税金等調整前四半期(当期) 純利益	—	52,873	—	—	345,990
税金費用	—	21,941	—	—	139,402
四半期(当期)純利益	—	30,932	—	—	206,587

- (注) 1. 当第1四半期から四半期財務諸表を作成するため、前年同四半期の実績及びこれに対する増減の記載は行っておりません。
2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期連結会計期間（自平成19年4月1日至平成19年6月30日）（単位：千円）

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成19年3月31日残高（千円）	67,500	57,500	673,055	798,055	△87	5,757	5,669	803,725
第1四半期連結会計期間中の変動額								
新株の発行	172,400	172,400		344,800				344,800
剰余金の配当（注）			△4,250	△4,250				△4,250
役員賞与				—				—
四半期純利益			30,932	30,932				30,932
株主資本以外の項目の第1四半期連結会計期間中の変動額（純額）					471	9,090	9,561	9,561
第1四半期連結会計期間中の変動額合計（千円）	172,400	172,400	26,682	371,482	471	9,090	9,561	381,044
平成19年6月30日残高（千円）	239,900	229,900	699,738	1,169,538	384	14,847	15,231	1,184,770

(注) 1. 平成19年6月の定時株主総会における剰余金処分項目であります。

2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(参考)

前連結会計年度（自平成18年4月1日至平成19年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高（千円）	67,500	57,500	473,192	598,193	—	4,282	4,282	602,475
連結会計年度中の変動額								
新株の発行				—				—
剰余金の配当（注）			△4,025	△4,025				△4,025
役員賞与（注）			△2,700	△2,700				△2,700
当期純利益			206,587	206,587				206,587
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					△87	1,474	1,387	1,387
連結会計年度中の変動額合計（千円）	—	—	199,862	199,862	△87	1,474	1,387	201,249
平成19年3月31日残高（千円）	67,500	57,500	673,055	798,055	△87	5,757	5,669	803,725

(注) 1. 平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	—	52,873	345,990
減価償却費	—	11,762	17,797
のれん償却額	—	2,229	3,572
賞与引当金の増加額	—	289	4,620
売上値引引当金の増減額(△は減少)	—	△33,414	75,512
退職給付引当金の増加額	—	116	115
受取利息及び受取配当金	—	△2,969	△15,070
支払利息	—	992	3,432
為替差益	—	△3,436	△1,610
株式交付費	—	2,863	—
固定資産売却損	—	64	—
固定資産除却損	—	—	246
出資金評価損	—	—	14,801
売上債権の増減額(△は増加)	—	66,845	△63,794
たな卸資産の増加額	—	△90,632	△5,463
仕入債務の増減額(△は減少)	—	83,257	△28,463
前渡金の増加額	—	△13,345	△55,352
役員賞与の支払額	—	—	△2,700
その他	—	△9,278	△16,001
小 計	—	68,219	277,634
利息及び配当金の受取額	—	4,182	13,272
利息の支払額	—	△1,049	△3,314
法人税等の支払額	—	△36,309	△177,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	35,042	110,313
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	—	△40,000	△120,000
定期預金の払戻による収入	—	—	120,000
有形固定資産の取得による支出	—	△127,840	△165,703
有形固定資産の売却による収入	—	1,390	—
無形固定資産の取得による支出	—	△6,412	△34,024
投資有価証券の取得による支出	—	△124	△79,403
投資有価証券の売却による収入	—	—	58,130
その他	—	150	△1,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△172,837	△222,827
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額	—	△30,000	△18,334
長期借入金の返済による支出	—	△33,953	△101,581
株式発行による収入	—	331,936	—
配当金の支払額	—	△4,250	△4,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	263,733	△123,940
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	11,252	1,087
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	—	137,190	△235,366
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	442,010	677,376
VII 現金及び現金同等物の期末残高	—	579,200	442,010

(注) 1. 当第1四半期から四半期財務諸表を作成するため、前年同四半期の実績の記載は行っておりません。

2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期（平成20年3月期第1四半期）

（単位：千円）

	コンシューマ事業	モバイル事業	アミューズメント事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高	482,709	18,901	41,427	6,451	549,490	—	549,490
営業費用	358,870	32,929	51,572	3,346	446,718	39,441	486,159
営業利益又は営業損失（△）	123,839	△14,027	△10,144	3,104	102,771	△39,441	63,330

（注）1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンシューマ事業	PlayStation専用ゲームソフト、PlayStation2専用ゲームソフト、PlayStationPortable専用ゲームソフト
モバイル事業	携帯電話用コンテンツ
アミューズメント事業	業務用アーケードゲーム機器、アミューズメント施設運営
その他の事業	関連グッズ、関連攻略本

（参考）前期（平成19年3月期）

（単位：千円）

	コンシューマ事業	モバイル事業	アミューズメント事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高	1,645,300	114,275	52,440	34,101	1,846,118	—	1,846,118
営業費用	1,165,675	85,817	86,437	15,231	1,353,162	148,207	1,501,370
営業利益又は営業損失（△）	479,624	28,457	△33,997	18,870	492,955	△148,207	344,747

〔所在地別セグメント情報〕

当四半期（平成20年3月期第1四半期）

（単位：千円）

	日本	北米	計	消去又は全社	連結
売上高	279,574	300,710	580,284	△30,794	549,490
営業費用	266,007	211,504	477,512	8,646	486,159
営業利益	13,566	89,205	102,771	△39,441	63,330

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

北米・・・米国

（参考）前期（平成19年3月期）

（単位：千円）

	日本	北米	計	消去又は全社	連結
売上高	1,084,917	934,780	2,019,697	△173,579	1,846,118
営業費用	757,904	768,837	1,526,742	△25,371	1,501,370
営業利益	327,012	165,942	492,955	△148,207	344,747